

2020年3月17日
アルコール検知器協議会

【アルコール除菌剤等によるアルコール検知器への影響について】

新型コロナウイルスの対策について、各社万全の体制で臨まれておりますが、その対応のひとつである「アルコール除菌剤によるクリーニング作業（除菌）」による影響と思われる、アルコール検知器の誤検知の発生が多く報告されております。アルコール検知器は文字通り「アルコールを検知する機器」ですので、これは誤検知ではなく正常にアルコールを検知している結果です。アルコール検知器は特性上環境雰囲気や測定者の周りに存在するアルコールに反応してしまう場合がありますので、アルコール除菌スプレーや除菌シート、次亜塩素酸消毒液等の使用はできるだけ避けてください。万が一使用された場合には、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 無飲酒時でも、周囲雰囲気中や測定者周りのアルコールに反応して数値が出る場合があります。
- 高濃度のアルコールに検知器が反応してしまった場合、正常状態に戻るまでかなりの時間を要する場合があります。
- 高濃度のアルコールや次亜塩素酸消毒液の影響を受けた場合、検知器（センサ）の耐久性、精度にも影響し、機器が故障する恐れがあります。

これらの問題は、その周囲雰囲気中のアルコール濃度やその影響時間等によっても、その症状はさまざまであり、一概に同一の症状が発生する訳ではありません。（1回OKであっても、必ず毎回OKになるとは限りません）。

なお、このような問題が発生した場合は、周囲にアルコールが無い環境での測定及び別の検知器での測定を実施して頂く必要があります。（ご使用者の運用/責任に準じた対応を実施して下さい）。

ただし、現状の新型コロナウイルスへの対応について、運行管理者の方から、「アルコール除菌剤等の使用を一切認めない」という訳にはいかない、というご意見も多く寄せられているのも事実です。

ご使用を希望される場合は、ご使用されている検知器メーカーにお問い合わせの上、管理者様の責任のもとご使用いただくことを重ねてお願い申し上げます。

何卒、ご理解の程、宜しくごお願い申し上げます。